

お客様本位の業務運営に関する 主な取組状況（2022年度）

2023年6月



静岡中央銀行

- 株式会社 静岡中央銀行（以下「当行」）では、お客様の安定的な資産形成の重要性の高まり等を踏まえ、特に金融商品販売におけるお客様本位の取組みを更に充実させるため、[2017年6月23日に「お客様本位の業務運営に関する取組方針」](#)を策定し、[本方針に係る取組状況等を定期的に公表](#)してまいりました。

お客様本位の業務運営に関するこれまでの取組状況

2017年6月	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下「金融庁原則」）採択 ◎ 「お客様本位の業務運営に関する取組方針」策定・公表
2018年6月 ～ 自主的KPI公表開始	◎ 「お客様本位の業務運営に関する主な取組状況（2017年度）」 公表
2019年3月 ～ 投資信託 共通KPI公表開始	◎ 「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI（2018年3月末基準）」 公表
2021年8月	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「金融庁原則（2021年1月改訂）」採択 ◎ 「お客様本位の業務運営に関する取組方針」改訂・公表
2022年6月 ～ 外貨建保険 共通KPI公表開始	◎ 「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI（2022年3月末基準）」 公表

- 今般、[「お客様本位の業務運営に関する主な取組状況（2022年度）」](#)を取り纏めましたので、お知らせいたします。今後も地域の皆さまのベストパートナーとして、幅広いニーズに迅速かつ積極的に対応し、お客様本位の業務運営の更なる向上に努めてまいります。

【取組方針 1】 お客様中心主義及び お客様本位の取組みの徹底	P 3
【取組方針 2】 お客様の最善の利益の追求	P 4
【取組方針 3】 利益相反の適切な管理	P 8
【取組方針 4】 手数料の明確化	P 9
【取組方針 5】 重要な情報の分かりやすい提供	P12
【取組方針 6】 お客様にふさわしいサービスの提供	P16
【取組方針 7】 お客様本位の取組みに合った 業績評価・人事評価体系の整備	P22
■ 投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I	P24
■ 外貨建保険の販売会社における比較可能な共通 K P I	P28

【取組方針 1】 お客様中心主義及び お客様本位の取組みの徹底

(1) 当行の経営理念である「堅実で健全な経営」のもと、基本方針となる「お客様中心主義」及び「お客様本位の業務運営に関する取組方針」を全役職員が継続的に行う行内研修等を通じて遵守し、企業文化として定着するよう努めてまいります。

【金融庁原則 2、原則 7（注）に対応】

(2) 以下の取組みに対する成果や進捗を定期的に検証し、不完全な項目については見直しを行ってまいります。

【金融庁原則 2、原則 7（注）に対応】

- 「[預かり資産研修](#)」の実施状況 は以下のとおりです。

預かり資産研修

	2020年度	2021年度	2022年度
実施回数	43回	39回	40回

- また、預かり資産研修の他にも「[内部管理責任者研修](#)」を年 1 回実施 しており、「お客様中心主義」及び「お客様本位の業務運営に関する取組方針」の定着やコンプライアンス態勢の充実を図っております。
- 「お客様本位の業務運営に関する取組方針」に基づく成果や進捗を定期的に検証し、その内容は [毎年 6 月に「お客様本位の業務運営に関する主な取組状況」として公表](#) するとともに、不完全な項目については見直しを行っております。

(1) お客様の最善の利益の追求に向けて、お客様本位の良質な商品・サービスの提供に努めるとともに、「お客様アンケート」等を通じて、お客様の意見・要望等を各種施策に反映させ、お客様の満足度及び利便性向上に取り組んでまいります。

【金融庁原則 2（注）に対応】

- 当行では [年 1 回「お客様アンケート」を実施](#) しており、アンケートを通じてお客様の意見・要望等を各種施策に反映させ、お客様の満足度及び利便性向上に取り組んでおります。
- 2020年度に [タブレット端末を全店に導入](#) し、より分かりやすい情報・サービスの提供に努めた結果、[投資信託の商品説明・提案内容、アフターフォローに対するお客様の満足度は80%前後で推移](#) しております。

お客様アンケート（一部抜粋）

	2020年度	2021年度	2022年度
当行に対する総合的な満足度【個人先】 「満足」または「やや満足」の割合	84%	91%	90%
うち「現役層」	83%	91%	88%
うち「シニア層」	85%	91%	91%

	2020年度	2021年度	2022年度
当行との今後の取引【個人先】 「取引を増やしたい」または 「現状のまま継続したい」の割合	90%	96%	95%
うち「現役層」	92%	97%	95%
うち「シニア層」	89%	96%	95%

	2020年度	2021年度	2022年度
投資信託の商品説明・提案内容【個人先】 「満足」または「やや満足」の割合	81%	78%	82%
うち「現役層」	81%	80%	79%
うち「シニア層」	80%	78%	84%

	2020年度	2021年度	2022年度
投資信託のアフターフォロー【個人先】 「満足」または「やや満足」の割合	75%	76%	76%
うち「現役層」	73%	76%	73%
うち「シニア層」	76%	76%	78%

※「現役層」… 給与振込先、住宅ローン先が中心 「シニア層」… 年金口座指定先、退職金定期利用先が中心

(2) お客様の多様なニーズにお応えするため、新たな商品の導入等、商品ラインアップの充実に努め、長期・分散・積立投資等に適した商品提案を行ってまいります。

【金融庁原則2（注）に対応】

- 年度毎の 商品ラインアップ等の推移 は以下のとおりです。
 今後もお客様の多様なニーズに合った商品を選択いただけるよう、新たな商品の導入、既存商品の見直し等を定期的に行い、商品ラインアップの充実に努めてまいります。
- なお、当行では 従来から仕組債等の商品性が複雑でハイリスクな商品の取扱いはございません。

《 2023年3月末 》

投資信託 42ファンド（2022年度 6ファンド導入、3ファンド販売中止）、つみたてNISA 8ファンド、生命保険 16商品

投資信託ラインアップ

種 別	2021年3月末		2022年3月末		2023年3月末	
	ファンド数	構成比	ファンド数	構成比	ファンド数	構成比
債券	13	36.1%	13	33.3%	13	31.0%
国内債券	3	8.3%	3	7.7%	3	7.1%
海外債券	10	27.8%	10	25.6%	10	23.8%
株式	14	38.9%	16	41.0%	22	52.4%
国内株式	5	13.9%	5	12.8%	5	11.9%
海外株式	9	25.0%	11	28.2%	17	40.5%
REIT	5	13.9%	5	12.8%	5	11.9%
国内REIT	1	2.8%	1	2.6%	1	2.4%
海外REIT	4	11.1%	4	10.3%	4	9.5%
バランス	4	11.1%	5	12.8%	2	4.8%
国内外バランス	4	11.1%	5	12.8%	2	4.8%
合 計	36	100.0%	39	100.0%	42	100.0%

つみたてNISAラインアップ

種 別	2022年3月末		2023年3月末	
	ファンド数	構成比	ファンド数	構成比
株式	7	87.5%	7	87.5%
国内株式	3	37.5%	3	37.5%
海外株式	4	50.0%	4	50.0%
バランス	1	12.5%	1	12.5%
国内外バランス	1	12.5%	1	12.5%
合 計	8	100.0%	8	100.0%

生命保険ラインアップ

種 別	2021年3月末		2022年3月末		2023年3月末	
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
変額終身 (一時払)	1	7.1%	2	12.5%	2	12.5%
円建	1	7.1%	2	12.5%	2	12.5%
定額終身 (一時払)	7	50.0%	7	43.8%	7	43.8%
円建	2	14.3%	2	12.5%	2	12.5%
外貨建	5	35.7%	5	31.3%	5	31.3%
定額個人年金 (一時払)	4	28.6%	5	31.3%	5	31.3%
外貨建	4	28.6%	5	31.3%	5	31.3%
定額個人年金 (平準払)	2	14.3%	2	12.5%	2	12.5%
円建	1	7.1%	1	6.3%	1	6.3%
外貨建	1	7.1%	1	6.3%	1	6.3%
合 計	14	100.0%	16	100.0%	16	100.0%

投資信託販売額上位5商品 (2022年度)

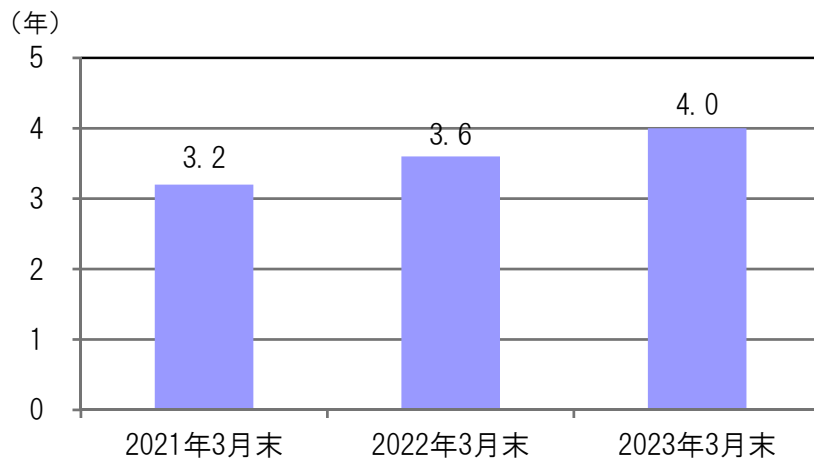
順位	商 品 名	運用会社	種 別	構成比
1	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)	大和アセットマネジメント	国内REIT	33.2%
2	ダイワFEグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	大和アセットマネジメント	海外株式	11.9%
3	ダイワ・US-REIT・オープン (毎月決算型) Bコース (為替ヘッジなし)	大和アセットマネジメント	海外REIT	8.0%
4	ポーレン米国グロス株式ファンド (資産成長型)	大和アセットマネジメント	海外株式	5.7%
5	サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし)	三菱UFJ国際投信	海外株式	5.1%

生命保険販売額上位5商品 (2022年度)

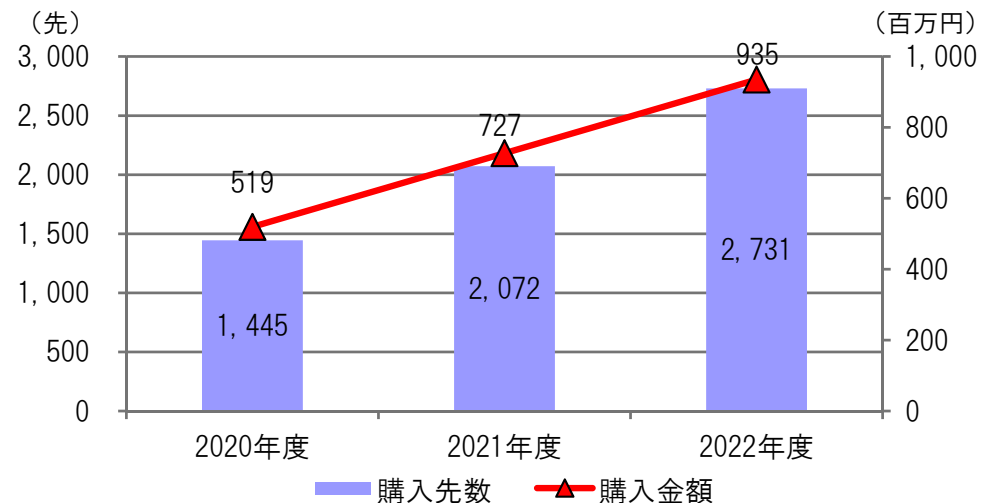
順位	商 品 名	引受保険会社	種 別	構成比
1	ふるはーとJロードプラス	住友生命	定額終身・円建	26.5%
2	ハイブリッドあんしんライフ	T&Dフィナンシャル生命	変額終身・円建	16.5%
3	生涯プレミアムワールド5	T&Dフィナンシャル生命	定額終身・外貨建	16.5%
4	たのしみ未来	住友生命	定額個人年金・円建	10.2%
5	生涯プレミアムジャパン5	T&Dフィナンシャル生命	定額終身・円建	6.8%

- お客様の最善の利益の追求に向けた良質な商品・サービスの提供に努め、お客様の長期資産形成につながる提案を行った結果、投資信託の「平均保有期間」は2023年3月末で4.0年となりました。
- また、長期・分散・積立投資等に適した「積立型投資信託」の販売を推進しており、年間購入先数・金額は着実に増加しております。

投資信託 平均保有期間



積立型投資信託 年間購入先数・金額



(3) 企業倫理についての集合研修やロールプレイングによるコンサルティングスキルの向上に努めるとともに、誠実かつ公正な業務運営を行うため、コンサルティング営業を更に強化し、お客様のニーズに合った商品・サービスを提供してまいります。

【金融庁原則2に対応】

- 取組状況はP3【取組方針1】(1) (預かり資産研修等)と同様となります。

(1) お客様との利益相反の可能性について正確に把握するとともに、利益相反のおそれがある取引をあらかじめ特定する等、適切な管理を行ってまいります。

【 金融庁原則 3 に対応 】

- 当行はお客様との利益相反の可能性について正確に把握・管理するため、「利益相反管理方針」及び「利益相反管理規程」を制定しており、当行の業務内容・特性等を踏まえて、利益相反管理の対象とすべき業務及び行為をあらかじめ定めております。
- 上記方針及び規程に基づく利益相反管理の対象取引（利益相反のおそれがある取引）が発生した場合には、関係業務部門及び営業店等は利益相反管理部署を通じて利益相反管理責任者へ申請し、お客様の利益を害することがないよう管理方針を決定のうえ、適切に管理しております。

(2) お客様に販売する商品を選定する際は、合理的根拠適合性を遵守し、お客様にとって最適な商品提案ができるよう努めてまいります。

【 金融庁原則 3（注）に対応 】

- お客様に販売する商品を選定する際は、当該商品の特性・リスク等を事前に検証し、一定の顧客にとって投資対象としての合理性を有するものであることを確認のうえ、商品の導入を組織決定しております。
- また、新たな商品を導入する際は事前に行内研修等を実施しており、お客様にとって最適な商品提案ができるよう努めております。

(1) お客様の投資判断に資するよう、商品毎の手数料等の透明性を高めるとともに、お客様の目線に立った丁寧な説明に努めてまいります。
【金融庁原則4に対応】

- 投資信託においては「投資信託説明書（交付目論見書）」、「目論見書補完書面」等、生命保険においては「商品概要書」を使用し、お客様にご負担いただく各種手数料等について説明しております。
- また、投資信託の販売にあたっては、預かり資産販売支援アプリ「Wealth Advisor」の商品概要（ファンド情報）や購入金額・手数料シミュレーション機能等を活用し、[お客様にご負担いただく各種手数料等の概算金額を事前に提示](#)しております。

< Wealth Advisor 機能 >

バランス
 基準日: 2023/05/30

マイ・ロード
 13,844円 (-4)

手数料等

- 申込手数料 1.65% (税込)
- 換金手数料 換金手数料はかかりません。
- 信託財産 1万口当たり基準価額に0.3%の率を乗じて得た額
- 留保額
- 信託報酬 年率1.023% (税込)
- その他費用 下記その他費用はファンドより実費として間接的にご負担いただけます。
 ・ 監査費用
 ・ 有価証券売買時の売買委託手数料 等

ファンド概要

ファンドの運用方針および特色
 主要投資対象は、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界各国(日本を含む)の不動産投資信託証券(REIT)。投資配分比率は、各資産の期待リターンや推定リスク、各資産間の相関係数等をもとに最適化した結果を踏まえ決定する。投資配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とする。原則として、為替ヘッジを行わない。ファミリーファンド方式で運用。2月決算。

設定日 2011年04月11日
信託期間 2026年02月18日
購入 毎営業日ご購入のお申込みをいただけます。ファンドによっては申込不可日があるため、詳しくは投資信託説明

下記シミュレーション結果は、仮に表記の基準価額(シミュレーション)(一部のファンドは販売基準価額)で約定した場合の概算金額を示したものであり、実際の約定取引の内容とは異なります。

基準日: 2023/05/30 時点 作成日: 2023/05/31 時点

マイ・ロード	コース	お申込数量	うち手数料等(A)	概算金額(A+B)
分配金受取		5,000,000円	81,160円	5,000,000円
投資比率	事前預時必要金額		約定口数	約定金額(B)
100%	5,000,000円	3,553,048口	4,918,840円	
概算金額合計				5,000,000円
お預かり時必要金額合計				5,000,000円

基準価額(シミュレーション) ... 前営業日(2023年05月30日)の基準価額(一部のファンドは販売基準価額)。

事前預時必要金額 ... お申込と同時に申込代り金をお預かりさせていただく場合に必要となる金額(お申込代り金入金金額)。金額買付でお申し込みの場合、お申込数量(購入時手数料等を含む)。口数買付でお申し込みの場合、概算金額×105%(但し、募集の場合、概算金額×100%)の1,000円未満を切り上げた値。

<入力したお申込数量(金額)に購入時手数料等を含める場合、または口数買付の場合>
 うち手数料等(A) ... 表記の基準価額(シミュレーション)を基に計算した購入・募集手数料の概算値で、消費税等を含んだ値。

<入力したお申込数量(金額)に購入時手数料等を含めない場合>
 手数料等(A) ... 入力したお申込数量(金額)に対してかかる購入・募集手数料の概算値で、消費税等を含んだ値。

約定口数 ... 金額買付でお申し込みの場合、表記の基準価額(シミュレーション)を基に計算した概算値。口数買付でお申し込みの場合、お申込数量欄に入力した口数。

概算金額(A+B) ... 金額買付でお申し込みの場合、うち手数料等(A)、または手数料等(A)と約定金額(B)の合計額、表記の基準価額(シミュレーション)を基に計算した概算値。口数買付でお申し込みの場合、表記の基準価額(シミュレーション)を基に計算した概算値。

(2) 生命保険商品（特定保険契約）に係る代理店手数料については、2016年11月から開示を行っております。

【金融庁原則4に対応】

- 生命保険商品（特定保険契約）に係る代理店手数料については、[2016年11月から「商品概要書」に記載し開示](#)しております。

< 商品概要書 記載例 >

■住友生命が支払う販売代理店手数料について
 住友生命は保険契約の締結の媒介や保険契約の維持管理業務等の対価として販売代理店に対し、払込金額に以下の手数料率を乗じた金額を支払います^(※4)。この手数料は、住友生命が販売代理店に支払うものであり、契約締結前交付書面に記載の「お客さまにご負担いただく費用」に追加して別途お客さまにご負担いただくものではありません。

契約年齢	積立利率0.11%未満		積立利率0.11%以上		積立利率0.20%以上		積立利率0.45%以上		積立利率0.65%以上		積立利率0.85%以上		積立利率1.10%以上		積立利率1.30%以上		積立利率1.45%以上	
	初年度 手数料率	継続 手数料率 (年率)	初年度 手数料率	継続 手数料率 (年率)	初年度 手数料率	継続 手数料率 (年率)	初年度 手数料率	継続 手数料率 (年率)	初年度 手数料率	継続 手数料率 (年率)	初年度 手数料率	継続 手数料率 (年率)	初年度 手数料率	継続 手数料率 (年率)	初年度 手数料率	継続 手数料率 (年率)	初年度 手数料率	継続 手数料率 (年率)
30歳～80歳	1.20%	1.70%	1.70%	2.60%	2.90%	3.20%	3.50%	3.80%	4.10%	4.50%								
81歳～85歳	0.80%	0.06%	1.10%	0.09%	1.80%	0.15%	2.00%	0.16%	2.20%	0.18%	2.40%	0.20%	2.60%	0.21%	2.80%	0.23%	3.00%	0.25%
86歳～90歳	0.40%	0.60%	1.00%	1.10%	1.10%	1.20%	1.30%	1.40%	1.50%	1.70%								

※記載の積立利率はご契約当初10年間の積立利率です。
 (※4) 継続手数料はご契約から2年目～最長5年目までの間、住友生命が販売代理店に支払うものです。一時払保険料に継続手数料率を乗じた金額となります。

(3) 同一あるいは類似商品で手数料率が異なる場合等においては、双方の商品を比較するうえで、契約締結前交付書面、商品パンフレット、重要情報シート等を用いて具体的に分かりやすく説明いたします。

【金融庁原則4に対応】

- 投資信託は当行が取扱うファンドを一覧にした「ファンドラインアップ」、預かり資産販売支援アプリ「Wealth Advisor」のファンド比較機能等、生命保険は「商品概要書」等を使用し、お客様が商品を比較する際に必要となる情報を具体的に分かりやすく説明しております。
- お客様への簡潔な情報提供、多様な商品の比較を容易にするための「[重要情報シート（個別商品編）](#)」を2022年8月より順次導入し、[2023年3月末で投資信託20商品、生命保険10商品で運用を開始](#)しております。

＜ ファンドラインアップ（一部抜粋） ＞

	ファンド名/運用会社	主な投資対象	ファンドの特色	主なリスク			お申込手数料(税込)	信託報酬(年率、税込)	信託財産留保額	換金代金入金日 (お申込日から起算)	決算日 (休業日の場合は翌営業日)
				価格 為替 リート	金利 流動性 金	信用 カントリー 償還					
国内債券	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型) 大和アセットマネジメント	主に国内の債券	日本の国債に投資を行い、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することを目指します。原則として最長15年程度までの国債を、各残存期間ごとの投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。	価格 為替 リート	金利 流動性 金	信用 カントリー 償還	1.10%	0.77%以内	なし	4営業日目	毎月10日
	ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型) 大和アセットマネジメント	主に国内の債券	日本の国債に投資を行い、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することを目指します。原則として最長15年程度までの国債を、各残存期間ごとの投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。	価格 為替 リート	金利 流動性 金	信用 カントリー 償還	1.10%	0.77%以内	なし	4営業日目	年1回 3月10日
	明治安田日本債券オープン (毎月決算型)(愛称:しあわせ宣言) 明治安田アセットマネジメント	主に国内の債券	日本の国債・政府保証債・地方債・利付金融債・社債等に投資し、信託財産の長期的な成長を図ります。	価格 為替 リート	金利 流動性 金	信用 カントリー 償還	0.55%	0.198%~0.715%	なし	4営業日目	毎月10日
	ニッセイ・デンマーク・カパード債券ファンド (為替ヘッジあり・資産成長型)(愛称:デニッシュ・インカム) ニッセイアセットマネジメント	主に海外の債券	住宅ローンを担保として、デンマーク等で発行される債券に主に投資し、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ります。	価格 為替 リート	金利 流動性 金	信用 カントリー 償還	2.20%	0.913%	なし	6営業日目	年2回 3・9月 各25日
国際債券	米回国債ファンド(為替ヘッジなし)(毎月決算型) 大和アセットマネジメント	主に海外の債券	米回国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することを目指して運用を行います。投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることを目指します。	価格 為替 リート	金利 流動性 金	信用 カントリー 償還	2.20%	1.144%以内	なし	5営業日目	毎月26日
	米回国債ファンド(為替ヘッジなし)(年1回決算型) 大和アセットマネジメント	主に海外の債券	米回国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することを目指して運用を行います。投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることを目指します。	価格 為替 リート	金利 流動性 金	信用 カントリー 償還	2.20%	1.144%以内	なし	5営業日目	年1回 3月26日
	ワールド・ソブリンインカム(愛称:十二単衣) 岡三アセットマネジメント	主に海外の債券	日本を含む世界主要先進各国のソブリン債(各国の国債や政府保証債等)に分散投資し、リスク分散を図ったうえで、長期的に安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用します。	価格 為替 リート	金利 流動性 金	信用 カントリー 償還	2.20%	1.155%	なし	5営業日目	毎月25日
	パン・パシフィック 外国債券オープン 明治安田アセットマネジメント	主に海外の債券	環太平洋先進国(アメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド)を投資対象とします。国債、州債、政府保証債、政府機関債および国際機関債に投資します。原則として毎月分配を行います。	価格 為替 リート	金利 流動性 金	信用 カントリー 償還	2.75%	1.10%	なし	5営業日目	毎月15日
	アジア・オセアニア債券オープン (毎月決算型)(愛称:アジオセ定期便) 岡三アセットマネジメント	主に海外の債券	豪ドル建ての公社債とアジア諸国・ニュージーランドの現地通貨建てソブリン債等を主要投資対象とし安定した収益の確保と信託財産の成長を目指します。また、組入れ比率は投資対象国の債券市場の利回り水準と流動性、金利および為替動向等を勘案して決定します。	価格 為替 リート	金利 流動性 金	信用 カントリー 償還	3.30%	上限1.65%	約定日の基準価額 ×0.1%	7営業日目	毎月20日

＜ Wealth Advisor ファンド比較機能 ＞

基準日: 2023/04/30 時点		
分類	国内債券	国内債券
ファンド名	明治安田 日本債券オープン(毎月決算型)『愛称:しあわせ宣言(毎月決算型)』	ダイワ 日本国債ファンド(毎月分配型)
分散投資比率 投資金額・比率を変更	50% (100万円)	50% (100万円)
トータルリターン 5年(年率)	-0.1%	-0.34%
トータルリターン 10年(年率)	1.02%	0.34%
リスクメジャー	1 (低い)	1 (低い)
シャープレシオ 1年	-1.06	-0.27
シャープレシオ 3年(年率)	-0.47	-0.54
シャープレシオ 5年(年率)	-0.04	-0.23
シャープレシオ 10年(年率)	0.48	0.22
上限申込手数料 (税込)	0.55%	1.1%
信託報酬 (税込・年率)	年率0.715% (税込) 以内	年率0.77% (税込) 以内

上記は過去の運用実績を元にした情報であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜ 重要情報シート（個別商品編）記載例 ＞

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）	
購入時に支払う費用（販売手数料など）	購入金額（約定日の基準価額×購入口数）に手数料率2.2%（税込）を乗じた額となります。
継続的に支払う費用（信託報酬など）	実質的に負担する運用管理費用は年率0.792%（税込）です。その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。
解約時に支払う費用（信託財産留保額）	換金時手数料はありません。換金時に信託財産留保額はかかりません。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目録見書】の「ファンドの費用・税金」箇所に記載しています。

＜次のような質問があれば、お問合せください＞

- ・私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ・費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

(1) お客様にご提案する商品の選定理由、仕組み、リスク等について、投資判断に必要な情報を分かりやすく丁寧に説明いたします。
 また、投資啓蒙パンフレットを活用したお客様への案内や「お客様セミナー」を定期的を開催する等、お客様目線に立った情報提供に努めてまいります。

【金融庁原則5に対応】

- 2020年度に全店に導入したタブレット端末には、投資信託の商品概要（ファンド情報）やマーケット情報等のお客様の投資判断に必要な情報を多数搭載しており、それらを活用して分かりやすく丁寧に説明しております。

< 商品概要（ファンド情報） >



国内株式
 基準日:2023/05/30

ストックインデックスファンド 225
 ファンドセレクション
 14,201円 (+43) 大和 店積

ダイワ JPX日経400ファンド
 17,781円 (-8) 大和 店積

女性活躍応援ファンド
 『愛称：椿』
 13,820円 (-6) 大和 店積

成長応援日本株ファンド
 『愛称：匠のワザ』
 8,258円 (+54) 明治安田 店積

いちよし 中小型成長株ファンド
 『愛称：あすなる』
 15,298円 (-3) いちよし 店積

ストックインデックスファンド225
 運用会社：大和

基準価額 2023/05/30 **14,201円**

積立投資 購入シミュレーション 解約シミュレーション

前日比(円) **+43**
 純資産(百万円) **94,765**
 ファンドレーティング **★★★★**
 リスクメジャー **3 (平均的)**

相性の良いファンド リスク・リターン分析

分配金履歴 直近6期分(原則税引前1万口当たり・円)

1期前	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前
160	180	190	120	160	120
(2022/09/20)	(2021/09/21)	(2020/09/23)	(2019/09/19)	(2018/09/19)	(2017/09/19)

トータルリターン(%)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年(年率)	5年(年率)	10年(年率)
2.88	6.52	5.55	9.34	14.16	6.69	9.08

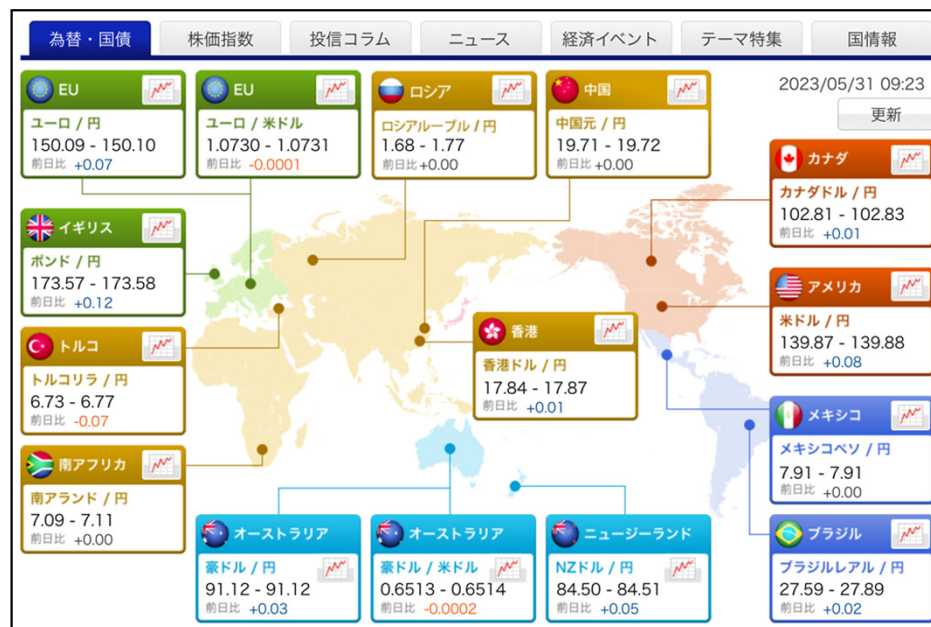
リスク(標準偏差)

1年	3年(年率)	5年(年率)	10年(年率)
15.00	15.93	16.99	16.22

シャープレシオ

1年	3年(年率)	5年(年率)	10年(年率)
0.62	0.89	0.39	0.56

< マーケット情報 >



為替・国債 株価指数 投信コラム ニュース 経済イベント テーマ特集 国情報

2023/05/31 09:23 更新

EU
 ユーロ / 円 150.09 - 150.10 前日比 +0.07
 ユーロ / 米ドル 1.0730 - 1.0731 前日比 -0.0001

ロシア
 ロシアルーブル / 円 1.68 - 1.77 前日比 +0.00

中国
 中国元 / 円 19.71 - 19.72 前日比 +0.00

イギリス
 ポンド / 円 173.57 - 173.58 前日比 +0.12

トルコ
 トルコリラ / 円 6.73 - 6.77 前日比 -0.07

南アフリカ
 南アランド / 円 7.09 - 7.11 前日比 +0.00

オーストラリア
 豪ドル / 円 91.12 - 91.12 前日比 +0.03
 豪ドル / 米ドル 0.6513 - 0.6514 前日比 -0.0002

ニュージーランド
 NZドル / 円 84.50 - 84.51 前日比 +0.05

カナダ
 カナダドル / 円 102.81 - 102.83 前日比 +0.01

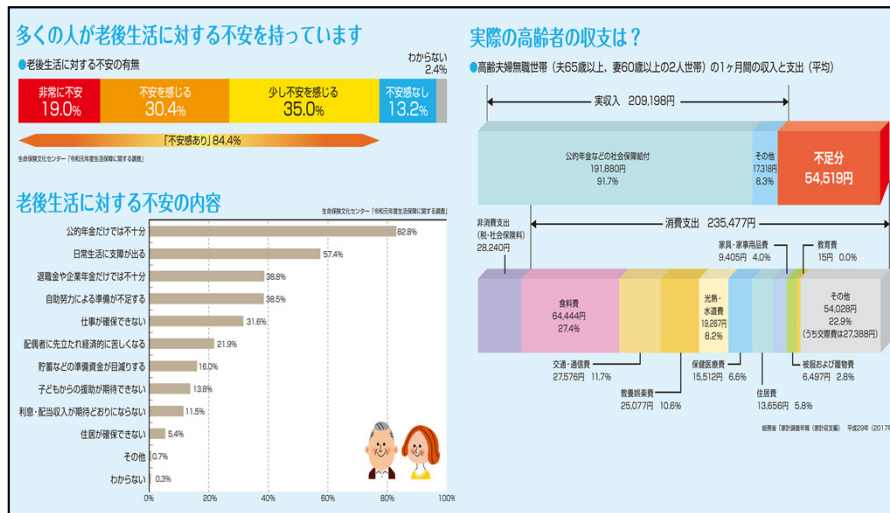
アメリカ
 米ドル / 円 139.87 - 139.88 前日比 +0.08

メキシコ
 メキシコペソ / 円 7.91 - 7.91 前日比 +0.00

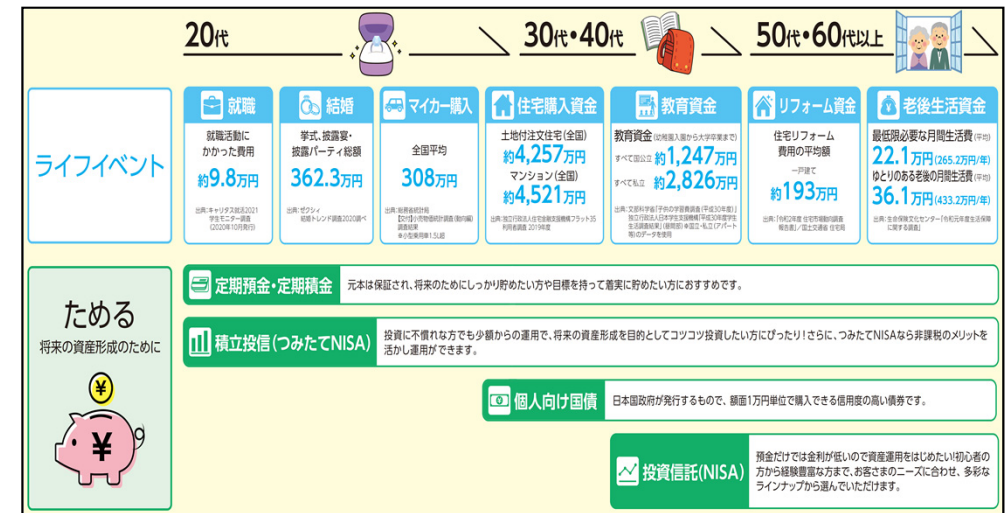
ブラジル
 ブラジルレアル / 円 27.59 - 27.89 前日比 +0.02

- 投資啓蒙パンフレット『お金の話あれこれ』、ライフステージに沿った商品提案パンフレット『ライフプランサポートメニュー』等のパンフレットを多数取り揃えており、お客様の状況に応じてご案内しております。

< 『お金の話あれこれ』 (一部抜粋) >



< 『ライフプランサポートメニュー』 (一部抜粋) >



- 金融商品に関する「お客様セミナー」、「年金相談会」等を定期的に開催し、お客様目線に立った情報提供に努めております。

お客様セミナー

	2020年度	2021年度	2022年度
開催数	1回	—	17回
参加者	70人	—	136人

年金相談会

	2020年度	2021年度	2022年度
開催数	11回	41回	82回
参加者	56人	194人	369人

※2020年度～2022年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い未開催または開催数を控えております

(3) お客様にとって最適な商品を比較検討できるよう、販売・推奨を行う商品の基本的な利益（リターン）、損失その他のリスク、取引条件等について、契約締結前交付書面、商品パンフレット、重要情報シート等を用いて分かりやすい説明に努めてまいります。

【金融庁原則5、原則5（注1）、原則5（注4）、原則5（注5）、原則6（注1）に対応】

- お客様にとって最適な商品を比較検討できるようタブレット端末を活用し、投資信託はファンドの規模やパフォーマンス、各種手数料等の情報を横並びで比較し、生命保険は商品概要書等を比較して分かりやすく説明しております。

< 比較チャート >



< 投資成果 >

投資金額での成果		100万円基準での投資成果へ→
選択期間：5年間(2018/06/01～2023/05/26) 選択期間に満たないファンドが含まれている場合は、ファンド設定時からの投資金額による投資成果となります。		
■ ダイワ J-REITオープン(毎月分配型)	分配金再投資コース	124.78 万円
	分配金受取コース	119.02 万円
	元本の騰落	39.65 万円
投資金額：100万円	受取分配金	79.37 万円
■ ダイワ・US-REIT(毎月決算)B為替H無	分配金再投資コース	163.81 万円
	分配金受取コース	142.18 万円
	元本の騰落	70.77 万円
投資金額：100万円	受取分配金	71.40 万円
■ 分散投資	分配金再投資コース	288.59 万円
	分配金受取コース	261.20 万円
	元本の騰落	110.42 万円
投資金額：200万円	受取分配金	150.78 万円

上記は過去の運用実績を元にした情報であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

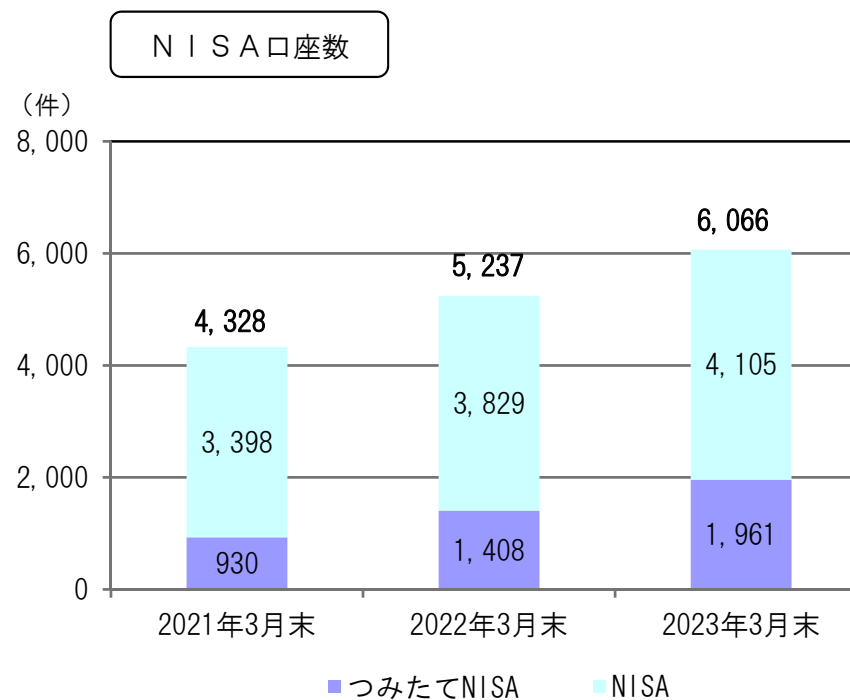
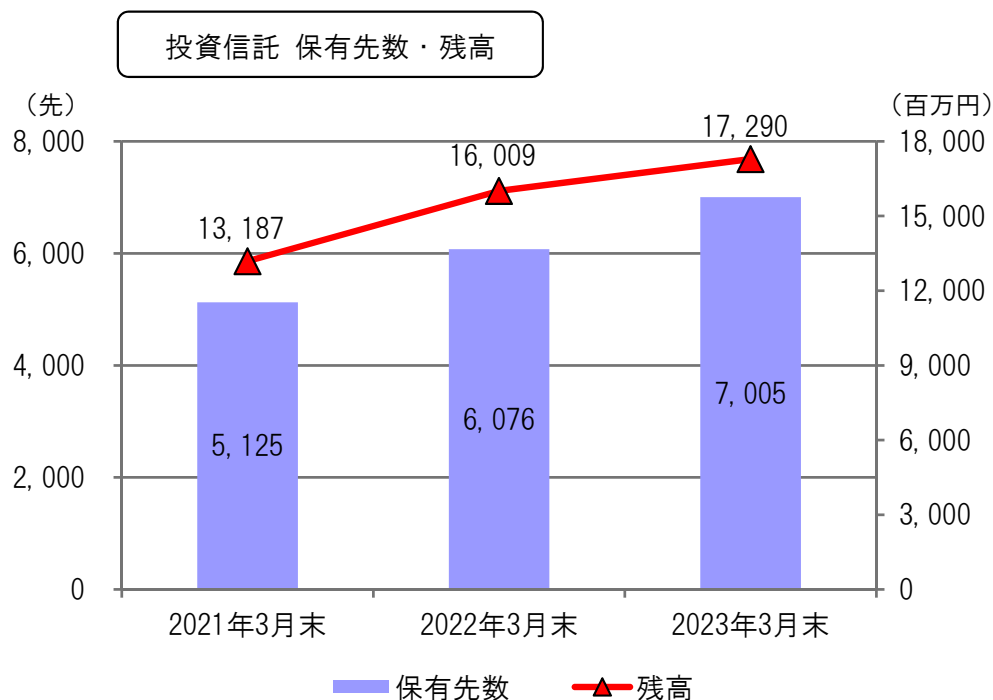
- 分配金再投資コース … 投資元本を指定した投資金額としたときのトータルリターン。
- 分配金受取コース … 投資元本を指定した投資金額とし、決算日毎の分配金を受け取ったと仮定した場合の損益。
- 元本の騰落 … 投資元本を指定した投資金額としたときの選択期間中の期末の基準価額に基づく評価額です。
- 受取分配金 … 投資元本を指定した投資金額としたとき、選択期間中に受け取った分配金(税引前)の合計額です。全ファンド1口=1円と仮定し、投資開始時点の基準価額をもとに保有口数を計算しているため、実際の受取分配金額と異なる場合があります。

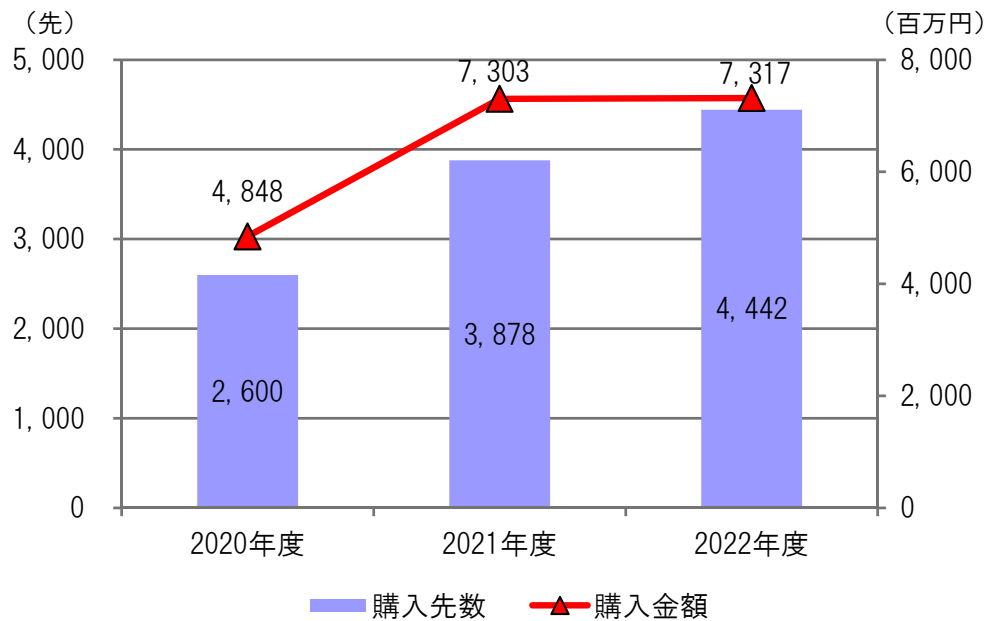
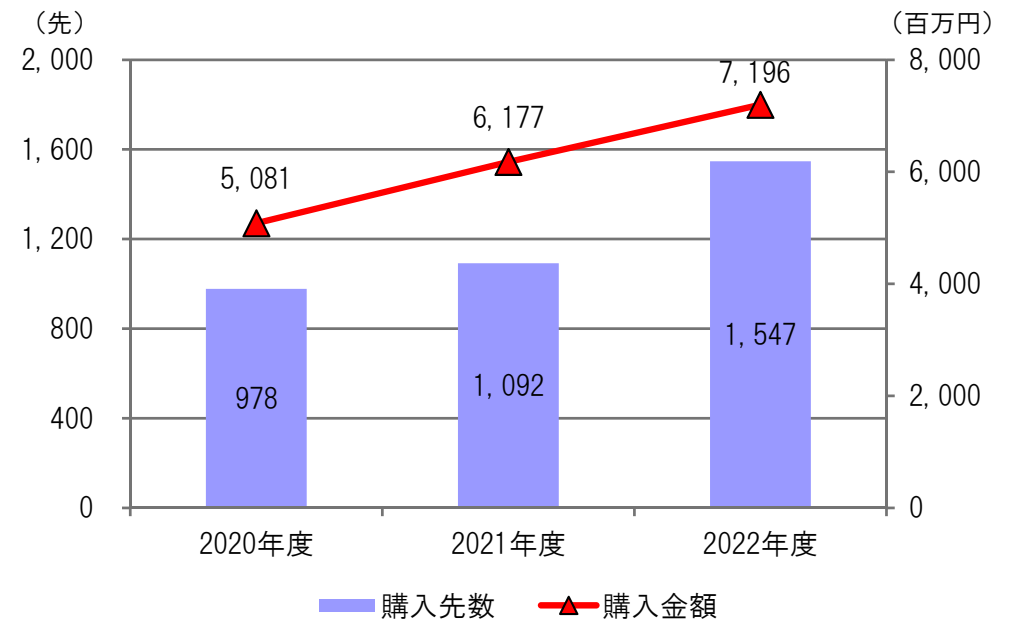
- お客様への簡潔な情報提供、多様な商品の比較を容易にするための「[重要情報シート（個別商品編）](#)」を2022年8月より順次導入し、[2023年3月末で投資信託20商品、生命保険10商品で運用を開始](#)しております。

(1) お客様の投資に関する知識・経験、投資目的、リスク許容度やライフプラン等をお伺いし、お客様にふさわしい最適な商品・サービスの提供、商品販売後の適切なアフターフォローを行ってまいります。また、特にご高齢のお客様に対しては、ご家族へのご相談をお勧めするなど、お客様の属性に合った商品提案に努めてまいります。

【金融庁原則6、原則6（注1）に対応】

- お客様の投資に関する知識・経験、投資目的、リスク許容度やライフプラン等を踏まえたご提案に努めるとともに、商品販売後の適切なアフターフォローを行った結果、投資信託の「保有先数・残高」及び「NISA口座数」、投資信託及び生命保険の「年間購入先数・金額」は着実に増加しております。



投資信託 年間購入先数・金額

生命保険 年間購入先数・金額


(2) 適切なアフターフォロー

- ・商品販売後のアフターフォローは、ご高齢のお客様を中心に継続的にきめ細やかな情報提供に努めてまいります。
- ・市場動向が大きく変化した際は、相場見通しや商品の運用状況をはじめ、お客様の投資判断に必要な情報を提供する等、迅速かつ丁寧なアフターフォローを行ってまいります。

【金融庁原則6（注1）に対応】

- 当行では、一定の基準を満たした投資信託保有先を対象に「定時アフターフォロー」を半年毎に実施しており、2022年度の実施率は100%（全先をフォロー）となっております。

《 投資信託「定時アフターフォロー」対象先基準 》

- ① 運用損失 50万円以上かつ運用損失率 20%以上の銘柄を保有する先
- ② 75歳以上の高齢者
- ③ 購入金額 延べ1,000万円以上の先

投資信託 定時アフターフォロー

	2020年度	2021年度	2022年度
延べ対象先数	2,203先	2,218先	2,584先
実施率	100%	100%	100%

- また、アフターフォローの更なる充実を図るため、2022年度より一定の基準を満たした生命保険保有先を対象に「定時アフターフォロー」を実施（以降、1年毎に実施）し、こちらも 2022年度の実施率は100%（全先をフォロー） となっております。

《 生命保険「定時アフターフォロー」対象先基準 》

【 定額終身（外貨建一時払）・定額個人年金（外貨建一時払） 】

- ① 75歳以上の高齢者

【 変額終身（円建一時払）の一部商品 】

- ① 解約損失^(※) 50万円以上かつ解約損失率20%以上の契約を保有する先
- ② 75歳以上の高齢者

※解約損失は基準日時点で解約した場合の解約返戻金をもとに算出

生命保険 定時アフターフォロー

	2022年度
延べ対象先数	380先
実施率	100%

- 投資信託において、相場急変により基準価額が前日比5%以上下落した銘柄につきましては、[「臨時アフターフォロー」](#)として、[当行ホームページに投資信託委託会社が作成したファンドレターを掲載](#)しており、お客様の投資判断に必要な情報を迅速に提供しております。
- また、個々のお客様からのお問い合わせにつきましては、営業店にて個別対応しており、迅速かつ丁寧なアフターフォローを行っております。

投資信託 臨時アフターフォロー

	2020年度	2021年度	2022年度
実施回数	8回	9回	13回
延べ対象銘柄	21銘柄	10銘柄	23銘柄

(3) ご高齢のお客様等への適切な金融商品の販売

- ・特にご高齢のお客様や投資に関する知識・経験が十分ではないお客様につきましては、リスクを抑えた商品をご提案する等、お客様にとって最適な商品の提供に努めてまいります。
- ・ご高齢のお客様に対しては、ご家族へのご相談をお勧めし、投資経験の浅いお客様には、リスクを抑えた商品をご案内する等、お客様の属性に合った商品提案に努めてまいります。
- ・リスクが高い商品に関しましては、お客様にふさわしいものであるか等慎重に検討し、当行からのご提案を控えさせていただくこともございます。

【金融庁原則6（注4）に対応】

- 金融商品のご提案にあたっては「金融商品ご相談シート兼お客様カード」を使用し、お客様の投資に関する知識・経験、投資目的、リスク許容度やライフプラン等を十分にヒアリングのうえ、それらを踏まえたご提案に努めております。
- なお、ご高齢のお客様や投資未経験のお客様につきましては、以下のとおり対応しております。

- 75歳以上80歳未満のご高齢のお客様 は、ご提案前に募集担当者以外の役席者が原則直接面談し、金融商品の販売の可否を判断しております。また、販売に際してはご家族の同席を求め、同席できない場合は募集担当者と役席者の同席または複数回の面談を実施しております。
- 80歳以上のご高齢のお客様 は、金融商品の販売を原則不可としております。お客様から購入の申出があった場合に限り、ご家族の同席を求めるなど慎重に対応し、最終的には本部主管部署が金融商品の販売の可否を客観的に判断しております。
- 投資未経験のお客様 は、① ご家族の同席、② 複数回の面談、③ 募集担当者以外の役席者の同席の何れかを求め、金融商品の販売の可否を判断しております。

(4) 商品ラインアップの充実

・お客様の投資に関する知識・経験、投資目的、リスク許容度やライフプラン等に応じて、お客様の多様なニーズに合った最適な商品を選択いただけるよう、商品ラインアップの充実に努めるとともに、お客様の安定的な資産形成に資する新たな商品の導入、既存商品の見直し等を定期的に行い、情報提供は「お客様セミナー」を定期的を開催する等、お客様の目線に立った活動に努めてまいります。

【 金融庁原則6（注1）、原則6（注5）に対応 】

- 取組状況はP5～7【取組方針2】（2）（投資信託・つみたてNISA・生命保険ラインアップ等）、P12～13【取組方針5】（1）（お客様セミナー、年金相談会）と同様となります。

【取組方針 7】 お客様本位の取組みに合った 業績評価・人事評価体系の整備

(1) お客様により良い商品・サービスが提供できるよう、職業倫理の醸成や専門知識の習得など、コンサルティング機能強化のための人材育成に取り組んでまいります。また、お客様に最適なコンサルティングができるよう、業績評価・人事評価体系を見直してまいります。

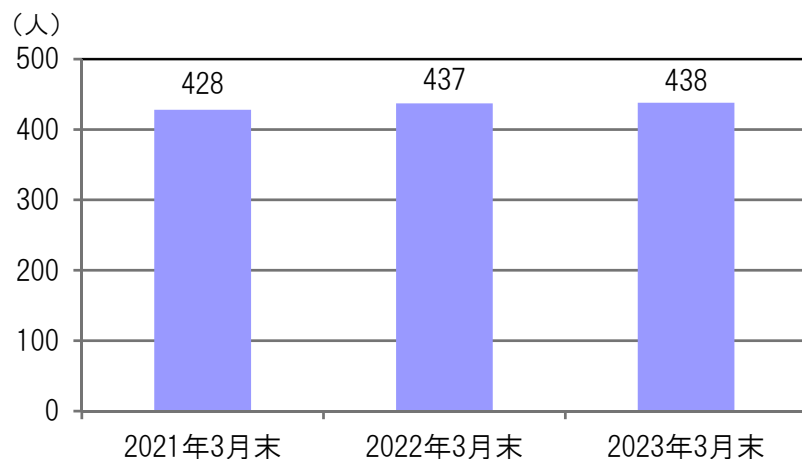
【金融庁原則7に対応】

(2) 研修による指導や外部専門資格取得を推奨し、お客様へのコンサルティング能力を高める等、人材の育成にも努めてまいります。

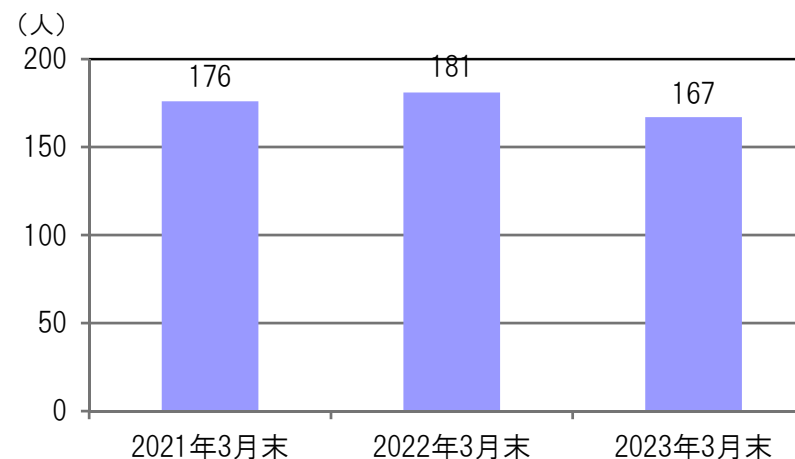
【金融庁原則7に対応】

- 当行ではお客様に最適なコンサルティングができるよう、投資信託及び生命保険の業績評価基準を販売手数料ではなく「販売金額」としており、特定の運用商品の販売に偏らない業績評価体系としております。
- また、人事評価体系に外部専門資格取得を組入れ、F P 及び金融窓口サービス等の資格取得を推奨しております。

F P 資格保有者数



金融窓口サービス資格保有者数



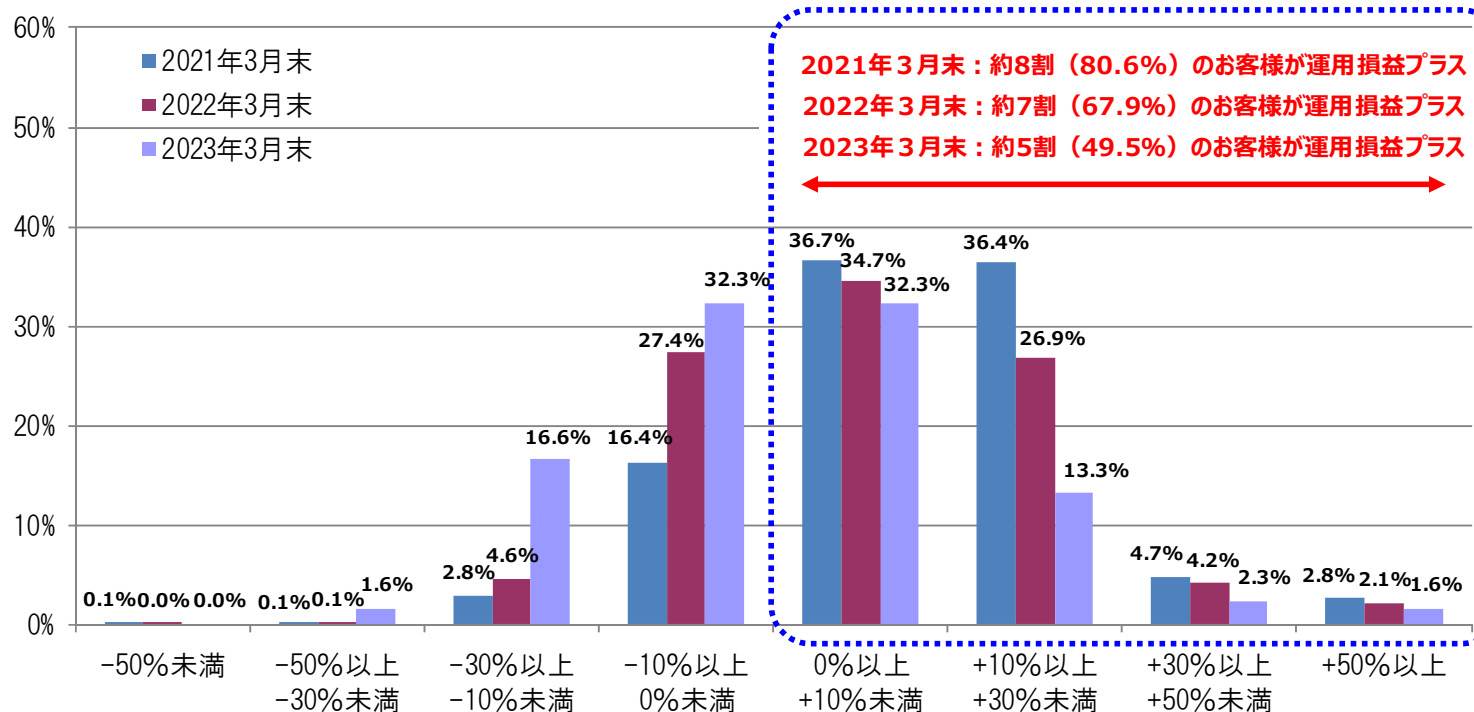
- 人材育成に関わる研修等の取組状況は P 3【取組方針 1】(1) (預かり資産研修等)と同様となります。

【金融庁原則 非該当項目】

- 金融庁原則 2～7のうち、**原則 5（注 2）**、**原則 6（注 2）**、**原則 6（注 3）**につきましては、当行は以下の理由から「非該当」であるため、それらに関わる取組状況の記載はございません。
 - （1）当行は「複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨」等していないため、原則 5（注 2）、原則 6（注 2）は 非該当 となります。
 - （2）当行は「金融商品の組成に携わる金融事業者」ではないため、原則 6（注 3） は 非該当 となります。

【 共通 K P I ① 】 投資信託 運用損益別顧客比率

- 2023年3月末時点では、投資信託の運用損益がプラスのお客様の割合は全体の約5割（49.5%） となりました。
- 運用損益の区分のうち “-10%以上0%未満” および “0%以上+10%未満” の比率が最も高く、各々 全体の32.3% となりました。



< 対象者 >

基準日時点で投資信託を保有している個人のお客様

< 運用損益計算方法 >

(分子) 基準日時点の評価金額 + 累計受取分配金額 (税引後) + 累計売付金額 - 累計買付金額 (含む消費税込の販売手数料)

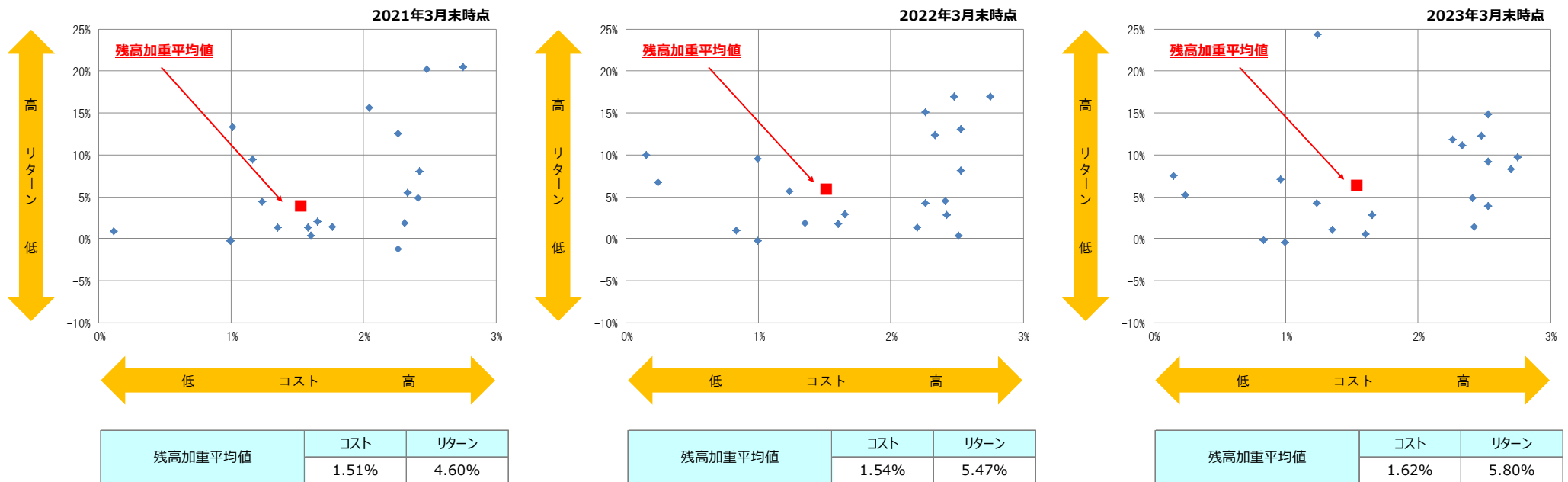
基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外

(分母) 基準日時点の評価金額

(遡及期間) 当該銘柄の購入当初まで遡及

【 共通 K P I ② 】 投資信託 預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

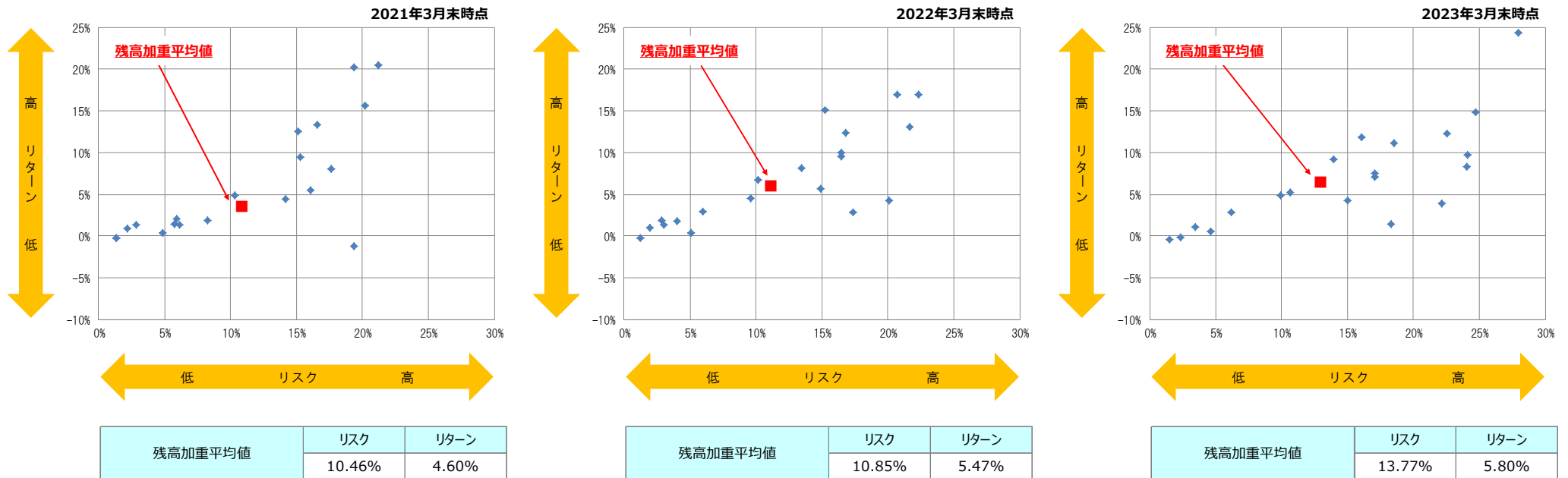
- 2023年3月末時点では、投資信託 預り残高上位20銘柄中、15銘柄でリターンがコストを上回っております。
- 預り残高上位20銘柄の 平均コスト1.62% に対し 平均リターンは5.80% となりました。



- < 対象銘柄 >
 投資信託 預り残高上位20銘柄（設定後5年以上の銘柄）
- < コスト >
 販売手数料率上限（消費税込）の1/5と信託報酬率（消費税込）の合計値
- < リターン >
 過去5年間のトータルリターン（年率換算）

【共通KPI③】投資信託 預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

- 2023年3月末時点では、投資信託 預り残高上位20銘柄の 平均リスク13.77% に対し 平均リターンは5.80% となりました。



- < 対象銘柄 >
投資信託 預り残高上位20銘柄（設定後5年以上の銘柄）
- < リスク >
過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
- < リターン >
過去5年間のトータルリターン（年率換算）

【投資信託 預り残高上位20銘柄】

2022年3月末時点

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)	1.23%	14.90%	5.67%
2	明治安田日本債券オープン (毎月決算型)	0.83%	1.96%	0.96%
3	ダイワ・U S-REIT・オープン (毎月決算型) Bコース (為替ヘッジなし)	2.33%	16.80%	12.36%
4	パン・パシフィック外国債券オープン	1.65%	5.96%	2.90%
5	野村インド債券ファンド (毎月分配型)	2.41%	9.58%	4.57%
6	マイ・ロード	1.35%	2.84%	1.85%
7	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	2.42%	17.37%	2.89%
8	ダイワ日本国債ファンド (毎月分配型)	0.99%	1.20%	-0.19%
9	成長応援日本株ファンド	2.53%	21.64%	13.06%
10	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	20.71%	16.96%
11	ダイワF E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	2.53%	13.45%	8.12%
12	明治安田米国中小型成長株式ファンド	2.75%	22.33%	16.91%
13	ワールド・ソブリンインカム	1.60%	3.99%	1.77%
14	ストックインデックスファンド2 2 5	0.99%	16.44%	9.55%
15	投資のソムリエ	2.20%	2.99%	1.32%
16	i Free 8資産バランス	0.24%	10.12%	6.70%
17	米国連続増配成長株オープン	2.26%	15.24%	15.09%
18	ワールド・リート・オープン (毎月決算型)	2.26%	20.07%	4.24%
19	i Free 日経2 2 5インデックス	0.15%	16.44%	10.00%
20	野村P I M C O・世界インカム戦略ファンドAコース (為替ヘッジあり年2回決算型)	2.51%	5.08%	0.41%
預り残高上位20銘柄の残高加重平均値		1.54%	10.85%	5.47%

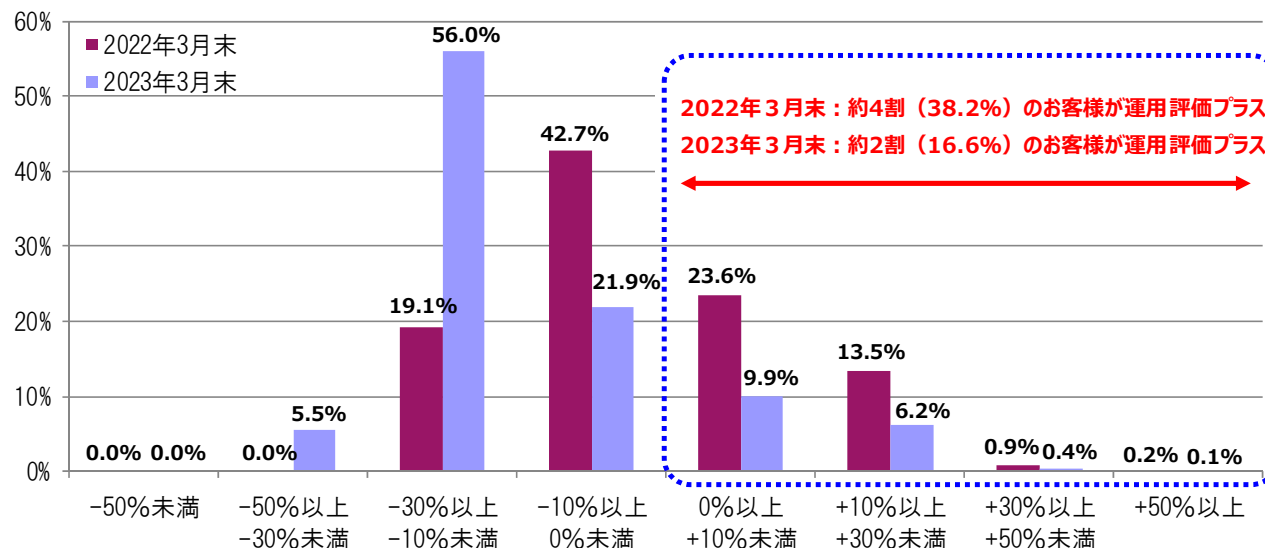
2023年3月末時点

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)	1.23%	15.03%	4.30%
2	明治安田日本債券オープン (毎月決算型)	0.83%	2.33%	-0.16%
3	ダイワF E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	2.53%	13.93%	9.24%
4	ダイワ・U S-REIT・オープン (毎月決算型) Bコース (為替ヘッジなし)	2.33%	18.52%	11.13%
5	野村インド債券ファンド (毎月分配型)	2.41%	9.93%	4.92%
6	マイ・ロード	1.35%	3.45%	1.08%
7	サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし)	2.53%	24.72%	14.87%
8	パン・パシフィック外国債券オープン	1.65%	6.19%	2.89%
9	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	22.52%	12.30%
10	成長応援日本株ファンド	2.53%	22.15%	3.89%
11	ストックインデックスファンド2 2 5	0.96%	17.05%	7.07%
12	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	2.42%	18.29%	1.42%
13	F A N G +インデックス・オープン	1.24%	27.94%	24.37%
14	明治安田米国中小型成長株式ファンド	2.75%	24.09%	9.70%
15	ダイワ日本国債ファンド (毎月分配型)	0.99%	1.47%	-0.40%
16	米国連続増配成長株オープン	2.26%	16.07%	11.83%
17	ワールド・ソブリンインカム	1.60%	4.62%	0.58%
18	i Free 8資産バランス	0.24%	10.63%	5.27%
19	ハリス世界株ファンド (毎月決算型)	2.70%	24.07%	8.31%
20	i Free 日経2 2 5インデックス	0.15%	17.06%	7.49%
預り残高上位20銘柄の残高加重平均値		1.62%	13.77%	5.80%

【 共通 K P I ① 】 外貨建保険 運用評価別顧客比率

■ 2023年3月末時点では、外貨建保険の運用評価がプラスのお客様の割合は全体の約2割（16.6%）となりました。

- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。
※2023年3月末時点では、契約後1年未満の契約の99.8%、契約後1年以上2年未満の契約の98.2%、契約後2年以上5年未満の契約の70.0%について運用評価がマイナスとなっております。
- 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。



	運用評価別顧客比率				
	件数	マイナス		プラス	
契約後1年未満	595	594	99.8%	1	0.2%
契約後1年以上2年未満	543	533	98.2%	10	1.8%
契約後2年以上5年未満	681	477	70.0%	204	30.0%
契約後5年以上	142	31	21.8%	111	78.2%
全 体	1,961	1,635	83.4%	326	16.6%

< 対象者 >

基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客様

< 対象契約 >

当行が保険募集を行った契約（基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）等は除く）

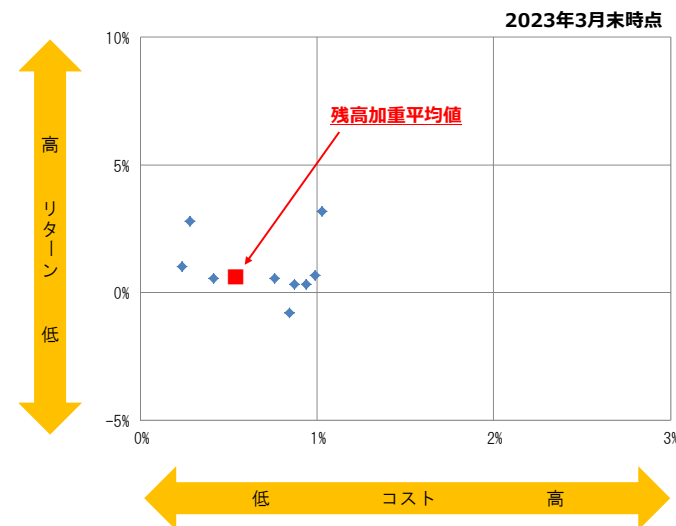
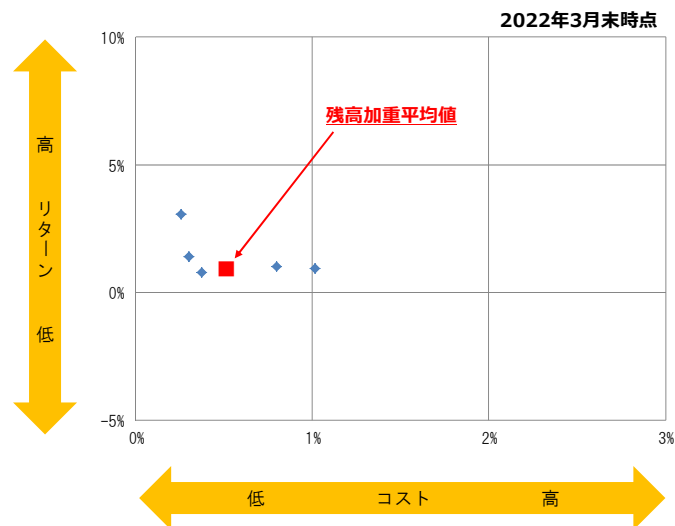
< 運用評価計算方法 >

（分子）（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額）－契約時点の一時払保険料（いずれも円換算）

（分母）契約時点の一時払保険料（円換算）

【 共通 K P I ② 】 外貨建保険 銘柄別コスト・リターン

- 2023年3月末時点では、外貨建保険 対象9銘柄中、4銘柄でリターンがコストを上回っております。
- 対象9銘柄の 平均コスト0.61% に対し 平均リターンは0.62% となりました。



< 対象契約 >

当行が保険募集を行った契約で保険契約開始から60ヵ月以上経過した契約
 (基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約(据置期間の契約も含む)等は除く)

< コスト >

保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用し、各契約の契約時点の一時払保険料(円換算)で加重平均して算出

< リターン >

(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料) ÷ (契約時点の一時払保険料) を年率換算し、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均して算出(いずれも円換算)

【 外貨建保険 対象銘柄 】
2022年3月末時点

残高順位	銘柄名	コスト	リターン
1	しあわせ、ずっと	0.79%	1.01%
2	みらい、そだてる	0.37%	0.80%
3	しあわせ、ずっとN Z	1.01%	0.94%
4	アテナ2	0.30%	1.43%
5	アテナ	0.26%	3.06%
対象 5 銘柄の残高加重平均値		0.56%	0.85%

2023年3月末時点

残高順位	銘柄名	コスト	リターン
1	みらい、そだてる	0.41%	0.57%
2	しあわせ、ずっとN Z	0.99%	0.69%
3	しあわせ、ずっと	0.76%	0.57%
4	生涯プレミアムワールド4	0.94%	0.34%
5	生涯プレミアムワールド3	0.87%	0.32%
6	ふるはーとJロードグローバル	1.02%	3.17%
7	やさしさ、つなぐ	0.84%	-0.77%
8	アテナ2	0.23%	1.02%
9	アテナ	0.28%	2.79%
対象 9 銘柄の残高加重平均値		0.61%	0.62%

2023年6月作成

株式会社 静岡中央銀行 経営管理部

TEL : 055-962-6113

URL : <http://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>